

経営比較分析表（平成28年度決算）

岩手県 金ケ崎町

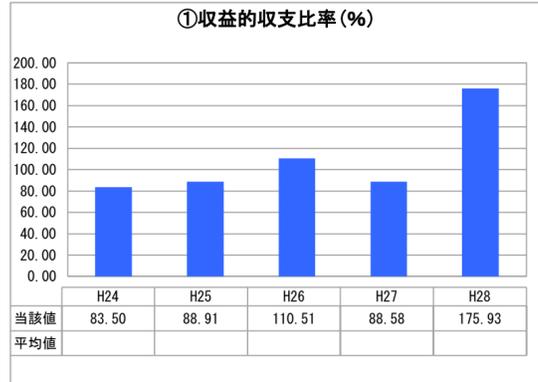
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.68	100.00	2,160

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,935	179.76	88.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,168	45.40	47.75

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



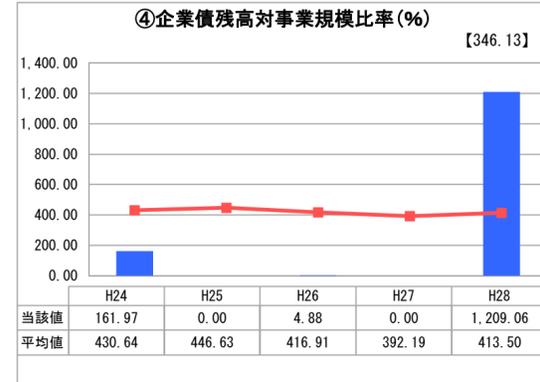
「単年度の収支」



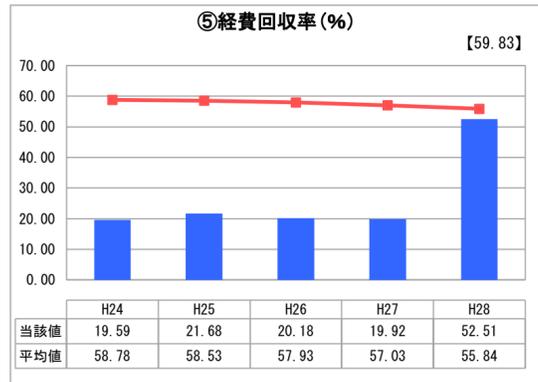
「累積欠損」



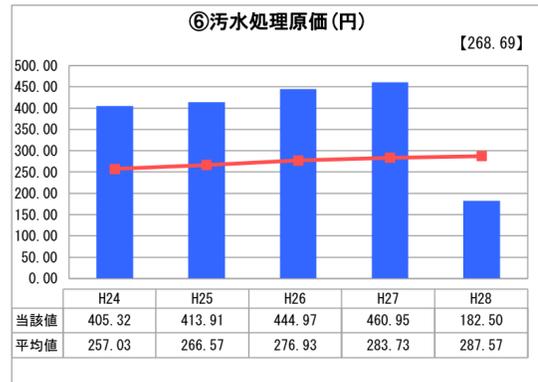
「支払能力」



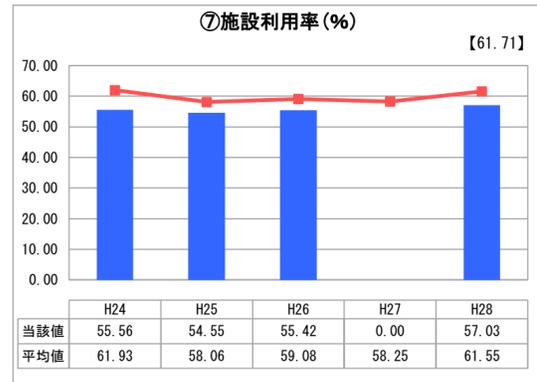
「債務残高」



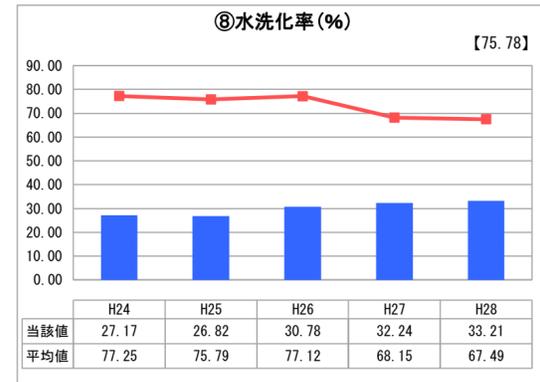
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

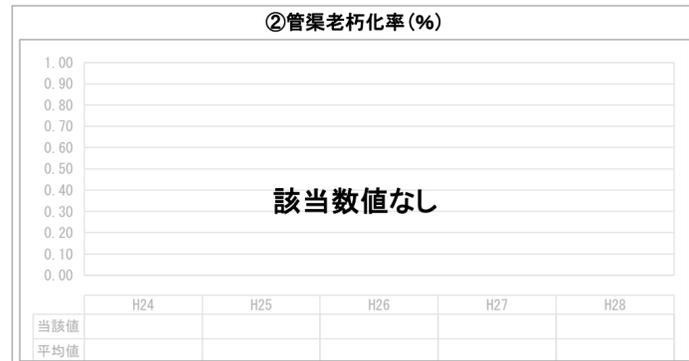


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

町では、平成16年から浄化槽市町村整備推進事業により水洗化に取り組んでおり、数値は水洗化率は増加傾向にあるが、全国平均及び類似団体と比較しても低い数値となっていることから、改善に向けた取り組みが必要である。

H28の収益的収支比率及び経費回収率、汚水処理原価の変動が大きいことについては、H29から地方公営企業法を適用し企業会計に移行するため、H28決算を打ち切り決算としたことにより、未計上経費が発生したためである。

2. 老朽化の状況について

供用開始後約10年程度の比較的新しい施設が多く、耐用年数が近くなっている施設はないが、今後、耐用年数を迎え老朽化していく施設に対応するため、長寿命化計画を中心とした事業を積極的に推進していく。

全体総括

下水道施設は、町の重要な財産であることから当該施設を維持していくため、管理費用や改築更新への費用増、将来的な人口減少による使用料の減少を考慮し長期的な管理計画、経営及び料金改定等を行うことが重要課題である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。